

Support Kids Program

第2回 子どもの療養環境改善寄付金 寄付金贈呈先活動

愛知県心身障害者コロニー中央病院 外来看護グループ（愛知）

『ぼくのわたしのワクワクランド』

「外来に通う子ども達が受診待ち時間を遊びながら楽しく過ごす環境作り」をめざして、天井までの大きな布製のタペストリーを作成。子どもたちが自由にタペストリーの木に動物や花などを貼り付けたりはがしたりして遊べるように工夫されています。タペストリーは病院スタッフやボランティア、入院患児の親御さんにより和気あいあいと作成されました。



順天堂大学小児医療医学部小児科（東京）

『小児外来における育児支援活動“わくわく広場”の充実化をめざして』

母子の愛着形成はとくに乳幼児期早期が貴重な時期です。寄付金は、未熟児・心疾患や慢性疾患を有する児とその母親を対象とした育児支援活動の場“わくわく広場”で、子どもの興味と活動を広げるための良質なおもちゃや備品の購入等に当てられました。



あいち小児保健医療総合センター（愛知）

『わくわく着替えて、だあ〜い へんしん！！』

入院生活における日常的なストレスを緩和し、意欲的な治療生活を促進するための行事は大変重要です。夏祭りの大人気企画「へんしん館」は、入院中の子ども達だけでなく、ご家族、スタッフが様々な衣装に着替え記念撮影を楽しみます。寄付金で変身のための衣装を購入しました。



NPO法人メンタルケアなないろの森（愛知）

『すごろく遊びを通した心の療養・活動報告』

治療、回復期にある療養中の多くの子ども達は遊びを制限せざるを得ない状況下にあります。そこで、子どもたちが自分の思いを表現できるすごろく遊びを独自に作成し、子どもたちの自発性、表現の発揮を促す活動を試みました。寄付金はすごろく制作費と遊びで使ったコマや子ども達へのプレゼントにあてられました。



中部ろうさい病院4階西病棟（愛知）

『ごっこ遊びで楽しく充実した遊びを！！』

入院中の子どもにままごと遊びを提供して治療等で生じる様々な不安やストレスを軽減することを目的に、寄付金で木製のままごとセットを購入しました。



日本赤十字社医療センター小児病棟（東京）

『大人仕様の病棟から子ども仕様の病棟へ』

一般に、急性期疾患・重症の子どもたちが多くいる病棟では、治療優先で病棟が子どもたちの生活の場であるという意識が薄くなりがちです。現場スタッフの病棟環境の意識変化を見える形にするために、寄付金で楽しいイラストが描かれたパーテーションを購入しました。



長良医療センター療育指導室（岐阜）

『壁面づくりとプレゼント』

小児外来に通院する子どもとその家族が、退屈せず安心して診察を待つことができる環境を整えることを目的に、不安・心配を軽減するような簡単なプレゼントと環境づくりに取り組みました。寄付金は壁面の装飾費やプレゼント作成費にあてられました。

